

日本機械学会 第9回生産加工・工作機械部門講演会 報告書

修士2年 横澤与志正

この度、私は、2012年10月27日（土）・28日（日）に秋田県立大学・本荘キャンパスで行われた「日本機械学会 第9回生産加工・工作機械部門講演会」に参加させていただき、27日午後のレーザ応用加工部門で「レーザ加工機のシステム化と穴あけの形状制御への応用」という題目で発表を行いました。

秋田県立大学・本荘キャンパスは、東京から新幹線で4時間半、在来線で1時間、最寄り駅からタクシーで10分ほどかかりました。キャンパスの周りには自然が多く、遠くからでもすぐに大学を見つけることができました。また、大学のすぐ後ろには、山々がそびえており、とても環境がよく、空気のきれいなところでした。

私は、27日のお昼頃に大学に到着し、自分の発表するレーザ応用加工部門から参加しました。私の発表は、10人中2番目でした。緊張でパソコンの準備や発表時間など、いろいろと細かいところまで気になってしまい、落ち着きませんでした。発表自体は時間ちょうどで終わらせることが出来ましたが、質問がなかなか出なかったので少し説明不足なところがあったと反省しています。他の発表者の中には、自分と同じような穴あけ加工についての発表はありませんでしたが、フェムト秒レーザを用いたマイクロ周期構造など研究室でも馴染みがある研究発表を見ることができ、非常に興味深かったです。それと、私のすぐ後に発表した東京大学の学生は、自分の研究に自信を持った心のこもった発表をしており、印象に残りました。私も自分の研究に自信が持てるよう、努力しようと思いました。

次の日の28日は、同じ研究室の修士2年の一條君がナノ加工と表面機能部門で発表があったので、その部門を午前中から聴講しました。様々な発表の中で1つ意外に思ったことは、一條君が研究で使っているサンドブラストを医療分野で活用している研究があったことです。歯科治療に用いている研究でしたが、質問が殺到していたのを覚えています。

今回の学会の参加・発表を通して自分の研究の課題や発表の仕方など、非常に学ぶものが多かったと思います。今後に生かしていきたいと思います。

最後に、本学会への参加の機会を与えてくださるとともに、発表準備において多くのご指導を頂いた森田先生、比田井先生、松坂先生に厚く御礼申し上げます。また、一緒に旅程の計画を立ててくれた一條君にも感謝の意を示したいと思います。ありがとうございました。

